

# JavaScriptの基礎

---

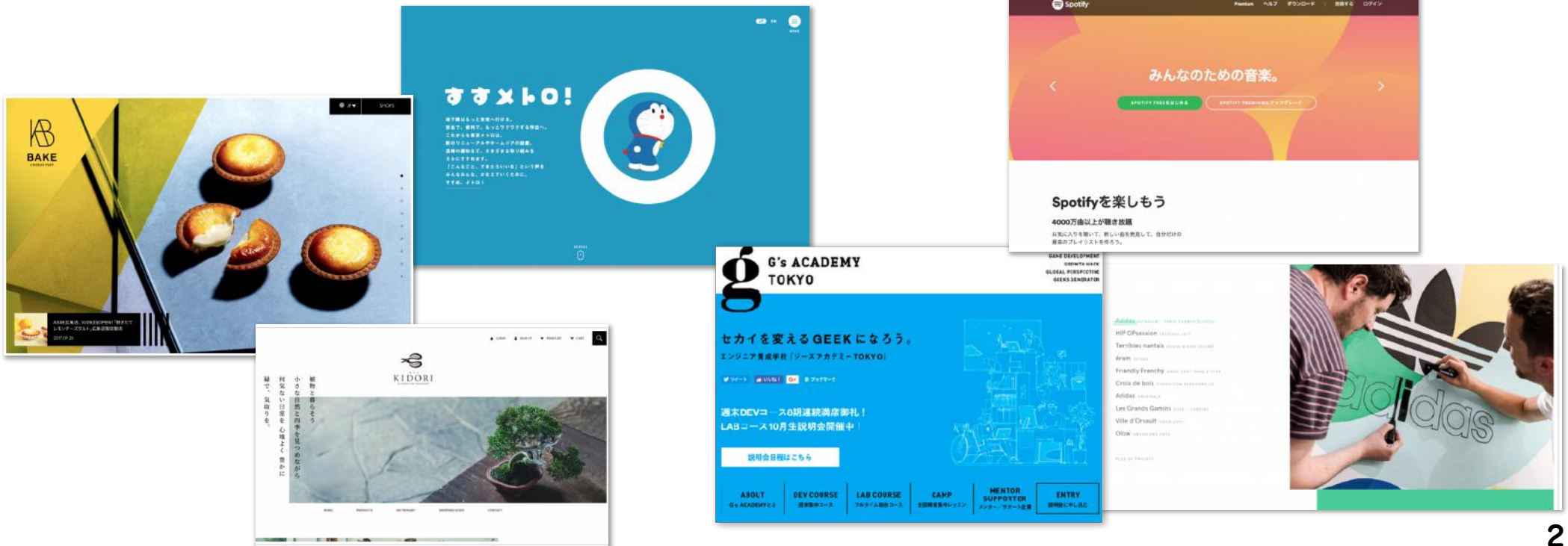
JavaScriptを理解しよう

# JavaScriptを学習しよう

## Javascriptとは？

Javascriptは現在のWEB開発において必須といっても過言ではありません！  
現在は多くの「ライブラリ」と呼ばれる便利な機能をひとまとめにしたものが  
開発されて利用されています。

「jQuery」「React」「Node.js」などがあります。※JAVAとJavascriptは別物



# JavaScriptを学習しよう

## JavaScriptを実行しよう！

---

jsのコードを実行し、基本的な動きを理解してみましょう！

「`console.log(” ○○” );`」というコードを書くと  
○○の中の文字が表示されます。

test.js

```
console.log(” はじめてのジャバスクリプト” );
```

カッコの中の値を出力しなさい！という命令

# JavaScript実習！

## 演習1

---

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsを作成し、HTMLに読み込ませてみよう※一緒にやります
2. `console.log(” はじめてのジャバスクリプト” );`と記載してみよう
3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

# JavaScriptを学習しよう

## 数値を扱おう！

---

一点注意ですが

数値は文字列と違いクォーテーションで囲めません！

足し算には「+」、引き算には「-」の記号を用います。

数値と記号はすべて半角なので注意！

test.js

```
console.log(" 3" );
```

```
console.log(" 5+3" );
```

```
console.log(" 5-1" );
```

数値は文字列と違いクォーテーションで囲みません。

# JavaScript実習！

## 演習2

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsに記述する

2. console.log();を使って下記の問題を解く

- ・ 23+5 を計算しなさい
- ・ 2000-1800 を計算しなさい
- ・ 18+5 を文字列で表示させなさい

3. 検証ツール→コンソール<sup>13</sup>画面に表示されるかチェックしよう

# JavaScript実習！

## 変数を理解しよう！

「変数」はjsで書くと下記のようになります。  
簡単にまとめると変数というのはデータを入れる箱のようなイメージを持ってください。

test.js

```
const name=" 就職キャンプ太郎"
```

変数の宣言      代入される値

変数名は数字からはNG！

※現在は「const」「let」というやり方で行うことが一般的です(古い書き方にvarというものがありますが使い方はほぼ同じです)😊

# JavaScriptのルール！

## 変数の名前のルール

---

`const hako`…英単語で始まっているのでOK

`const 1hako`…数字で始まっているのでNG！※数字から始めては絶対にダメ！

`const はこ`…日本語で始めてはいけません

最初はとても混乱するかもしれませんが、まずは「数字」からはダメ！ということ

---

日本語を使ってはいけないということを理解しておけば大丈夫です！

---

特に数字からは忘れがちなので注意しよう！

---



# JavaScriptを学習しよう

## if文 条件分岐を理解しよう

---

続いては条件分岐です。if文は条件に応じて処理を「分ける」ことができます。

test.js

```
if(条件){  
    条件が真であれば実行  
}else{  
    条件が偽であれば実行  
}
```

( )内に条件を書き、条件が一致すれば  
{ }内の処理が実行されます。

# JavaScriptを学習しよう

## if文の書き方は？

---

if文の書き方は下記のような方法で記述します。

test.js

```
if(条件){  
    条件が真であれば実行  
}  
else{  
    条件が偽であれば実行  
}
```

( )内に条件を書き、条件が一致すれば  
{ }内の処理が実行されます。

# JavaScript実習！

## 演習4

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsに記述する

2. 下記の問題を解く

```
var point=90;
```

pointが80点以上の場合は「素晴らしい！おめでとう！」と表示させる

それ以外の場合は「もっと頑張りましょう！」と表示させる

※if文を使う

3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

# JavaScriptを学習しよう

## 関数を使ってみよう！

---

関数とは便利な機能をまとめてくれているものだとは最初は思ってください。  
始めから用意されているもの、自分で作るもの、2パターンが存在します。

test.js

// 乱数が0～4まで表示される

```
Math.floor( Math.random() *5);
```

最初は混乱するかもしれませんが、

とりあえずこれを活用すれば良いと覚えておこう！

※プログラムの数え方は「0」から数えるので、0,1,2,3,4のランダムな数字となります😓

# JavaScript実習！

## 演習5

---

ではここで実際にパソコンで作業を進めていきましょう！

1. test.jsに記述する

---

2. `Math.floor( Math.random() *5);` を変数に代入してみよう！

---

そしてコンソールで表示させてみよう！

---

3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

---

# JavaScript実習！

## 演習6

---

■ 今までのおさらい！[if文と変数を使って]おみくじを作成しよう

1. if文を活用する

---

2. `Math.floor( Math.random() *5);` を活用しよう！

---

3. 検証ツール→コンソール画面に表示されるかチェックしよう

---